

朔太郎をデザインする展

『月に吠える』

"Howling at the Moon"

Exhibition: Rediscovering Sakutarō

26人のデザイナーがつくる、
詩集『月に吠える』の装丁デザイン。

2018年11月1日(木) - 7日(水)

前橋市芸術文化れんが蔵

前橋市三河町1丁目16-27

10:00 - 16:00 入場無料

主催：群馬県デザイン協会

協力：日本グラフィックデザイナー協会・萩原朔太郎記念 水と緑と詩のまち 前橋文学館・平出紙業株式会社

後援：前橋市・前橋市教育委員会・前橋商工会議所・(公財)前橋観光コンベンション協会・上毛新聞社

朝日新聞社前橋総局・読売新聞前橋支局・毎日新聞前橋支局・産経新聞社前橋支局・東京新聞前橋支局

日本経済新聞社前橋支局・朝日ぐんま・群馬テレビ・FM GUNMA・前橋街づくり協議会

企画：朔太郎をデザインする展「月に吠える」実行委員会

Design by HIDEAKI OKADA
Produced by DESIGN ASSOCIATION IN GUNMA

DAG
DESIGN ASSOCIATION
IN GUNMA

朔太郎をデザインする展

Exhibition: Rediscovering Sakutarō

若者たちの本離れが話題となっています。電子書籍にはない質感ある紙の本の良さや面白さ、素晴らしさを多くの人達に再確認してもらいたい。その思いから、今回は前橋の生んだ日本を代表する近代詩人「萩原朔太郎」の詩集『月に吠える』を題材として、群馬県デザイン協会の会員を中心に県内のデザイナーたちがブックデザインに取り組みました。

『月に吠える』は、若くして逝去した版画家田中恭吉と、恩地孝四郎との芸術共同事業でありたいと朔太郎が望み完成させた詩集です。当時「詩と絵画の不思議なまでの一体感の本を手にした人々を驚嘆させた」と報じられました。本展覧会のために新しくつくられた、26人のデザイナーによる二〇一八年度版萩原朔太郎『月に吠える』。紙の本のもつ魅力やブックデザインを楽しんでいただくとともに、朔太郎の大きな力を感じていただきたと思います。

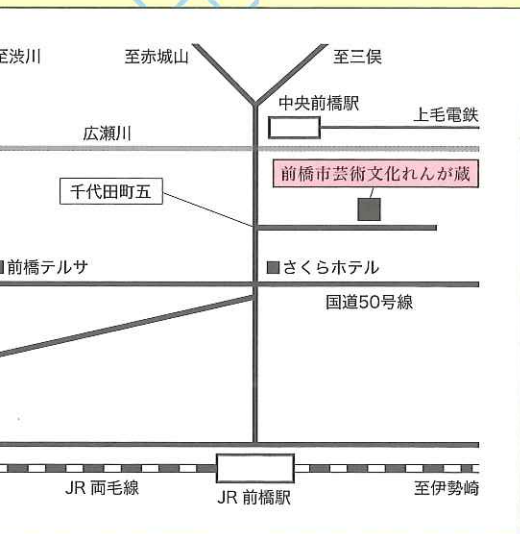
『月に吠える』

"Howling at the Moon"

画：朗読劇『月に吠える』

日(日) 13:00 - 14:00

付ひろみ(演劇プロデュースとろんぶ・るいゆ主宰) 他



◎参加デザイナー

- 相川なおみ (書画・デザイン)
- 飯塚 裕子 (イラストレーター)
- 石井 芳明 (石井デザイン事務所)
- 糸井千恵美 (版画家)
- 石原 保幸 (ピーイング)
- 磯貝 一彦 (デザインクルー)
- 今成 博幸 (アドワーク)
- 岩村 歩夢 (総合PR)
- 大井田 久 (九峰出版)
- 岡田 英明 (マルキンアド)
- 大野 美文 (デザイナー)
- 鎌田えみ子 (GAZA写真事務所)
- カリグラファー 月子
- 菅野 麻衣 (マルキンアド)
- 坂庭 光咲 (かみずデザイン)
- 栗原 俊之 (HABS)
- 桑原 一 (プロジェクトK)
- 桑原 尚子 (グラフィック工房)
- 忍田 強 (FOXFLAP)
- 下園 敦 (プロジェクトK)

26人のデザイナーがつくる、詩集『月に吠える』の装丁デザイン。